

川崎市・富士通共同実証実験 子育て支援アプリ「あさ子育てポータル」 実施報告書（まとめ）

2015年5月
川崎市
富士通株式会社

■ 川崎市と富士通との包括協定（2014年2月19日締結）

⇒取組みの一つとして、**市民生活を向上させるオープンデータ**（注）**の活用**について検討

■ スマートフォンの急速な普及

⇒**スマートフォンの特長を活かした市民への情報発信**の検証が課題

■ 子育て世代の支援充実についての政策的要請

⇒**子育てイベント情報**は、行政だけでなく、ボランティア団体等も含め多様な主体や媒体から情報発信されるため、**利用者が知りたい情報を探しづらい**（※）、**行政職員が情報をとりまとめる作業が煩雑**という課題あり

※ 麻生区等で市民の意見が寄せられている



川崎市・富士通共同実証実験 麻生区子育て支援アプリ「あさお子育てポータル」

視点

- ◆ スマートフォン向け情報提供
- ◆ オープンデータの仕組みの活用
- ◆ 的確かつタイムリーな情報入手
- ◆ 住民サービスの向上
- ◆ 自治体事務の効率化

（注）オープンデータ：機械判読に適したデータ形式で二次利用が可能な利用ルールにより公開された、国、自治体、独立行政法人、公益事業者などが保有する公共データ。

川崎市と富士通との包括協定(2014.2.19)

日本一幸せのあふれる
最幸のまち

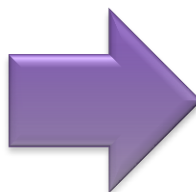


ヒューマンセントリック
インテリジェントソサエティ



FUJITSU

shaping tomorrow with you



「持続的な川崎のまちづくり」

- 力強い産業都市
- 安心のふるさと



山本社長と福田市長

- ① ICT を活用したまちづくり
- ② 世界に飛躍する次世代への多様な人材育成
- ③ 活力あるコミュニティの形成
- ④ 環境にやさしいまちづくり
- ⑤ 最先端技術を活用した国際貢献と産業振興の推進

【連携・協定の主な対象分野】

主な取り組み



オープンデータ・ビッグデータの活用に関する調査・研究

子育て支援に係る川崎市の課題

必要な子育て関連情報が探しにくい

イベントを知りたいけど
何を見たら良いの？



主催者ごとのチラシ
施設の掲示板
広報誌
町内会の回覧板

市や区のホームページ
(イベントカレンダー)



こどもの年齢にあった近場の
イベントが探しにくい

近くに授乳やオムツ替えが
出来る施設はないかしら？

イベントのとりまとめ事務が煩雑

子育てに係るイベントは、様々な部署や団体が主催

自治体
(保健福祉)

- ・離乳食教室
- ・幼児食教室
- ・歯の健康教室
- ・1歳児歯科健診
- ・体験ウォーク 等

自治体
(児童家庭)

- ・乳幼児健康診査
- ・育児相談
- ・両親教室
- ・妊産婦健康相談
- ・保育園庭開放 等

自治体
(こども支援)

- ・工作教室
- ・身体測定
- ・歌や楽器で楽しもう
- ・読み聞かせ会
- ・おやこヨガ 等

子育て支援団体
(ボランティア等)

- ・子育てサロン
- ・ママ＆ベビー交流会
- ・手遊び、リトミック
- ・紙芝居
- ・親子体操 等

とりまとめ作業が大変
情報発信までにタイム
ラグがある！



自治体広報担当者等

実証実験のねらい

- (1) 市民サービスの向上**（市民が必要とする情報の的確かつタイムリーな提供）
- (2) 事務の効率化・施策改善**
- (3) オープンデータ活用モデルの開発**

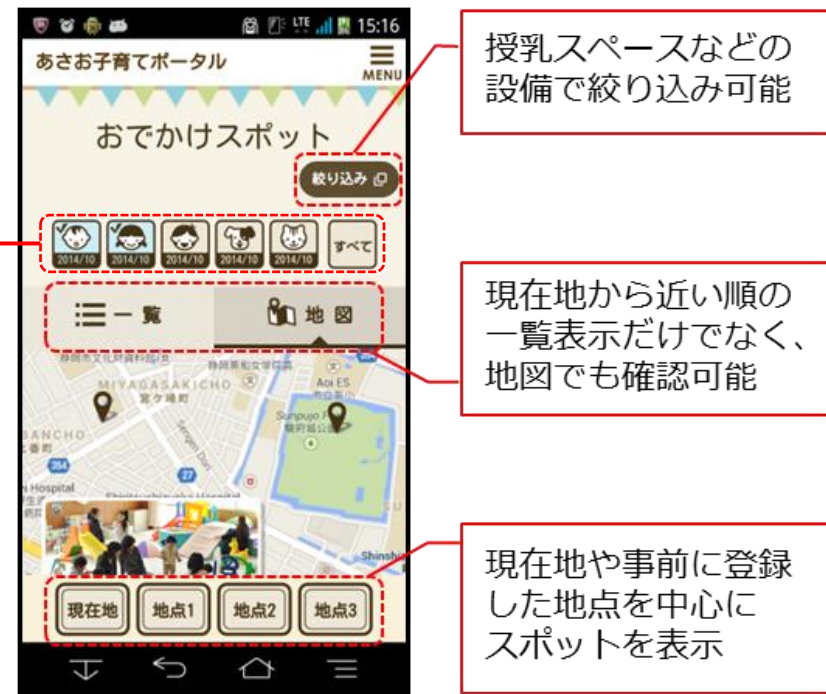
実証実験の実施要領

- **実施期間** 2015年1月6日から2015年2月28日まで
(1月5日記者会見)
- **実証地域** 麻生区
- **モニター数** (最終) 353名
※1月6日のサービス開始時点では約100名

「イベント」の検索



「おでかけスポット」の検索



- 様々な主催者によるイベントをまとめて探せます！
- 気になるイベントを「マイイベント」として登録できます！！

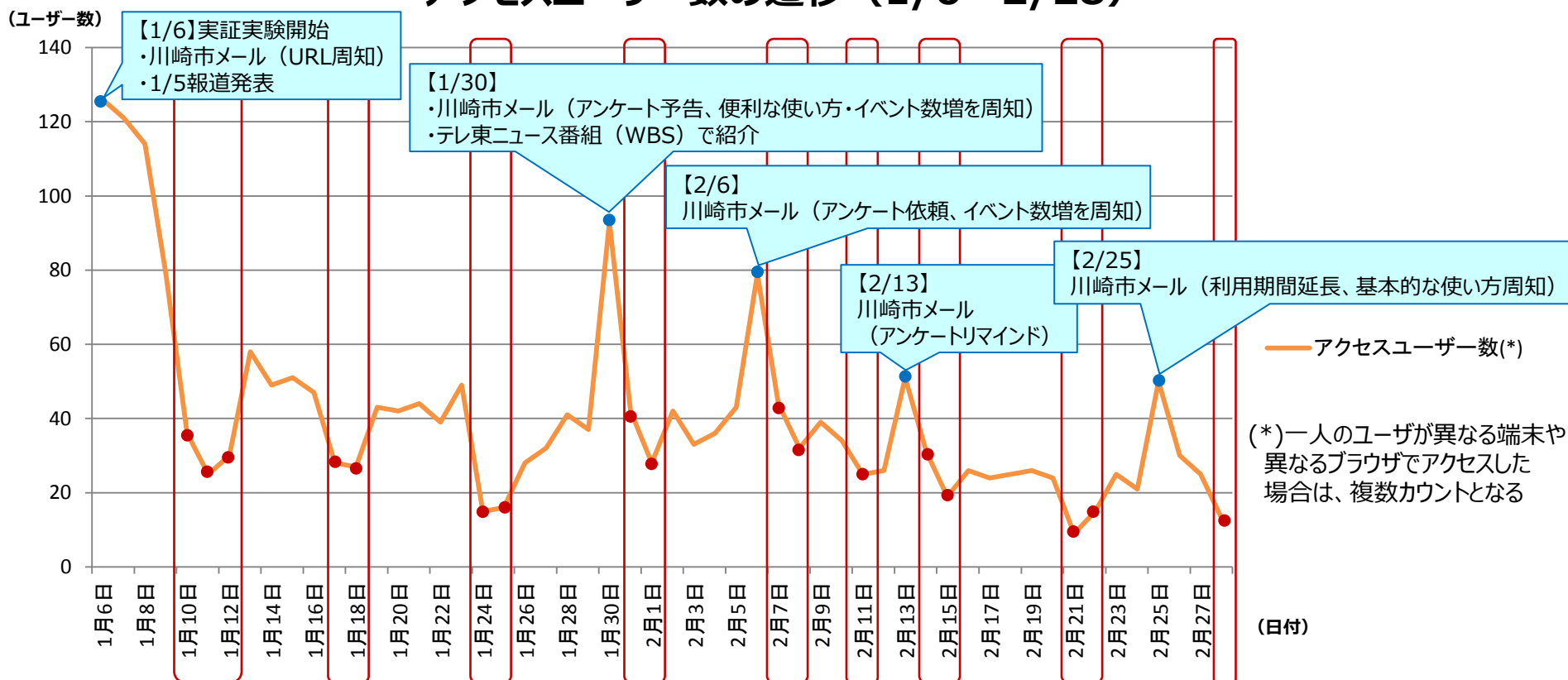
- 気軽におでかけできる近くのスポットを探せます！

データの種類	データの性質	件数
子育てイベントデータ	動的 (日々追加)	約 9 0 件 (1/6時点) 約 2 0 0 件 (2月末時点)
お出かけスポットデータ	概ね静的	1 7 2 件
開催場所データ (公共施設等)	概ね静的	1 5 3 件
主催者データ	概ね静的	3 7 件

アクセスユーザー数の遷移

- アクセスユーザー数は、一日平均で41名、週平均で173名。
- **土日・祝日**のアクセスは少なく、平日のアクセスが多い。
- **川崎市からモニターへのメール**（サービスのリマインド等）直後はアクセス数が急増。

アクセスユーザー数の遷移（1/6～2/28）

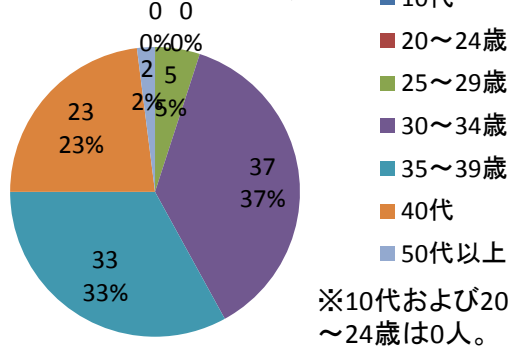


モニターアンケート実施概要

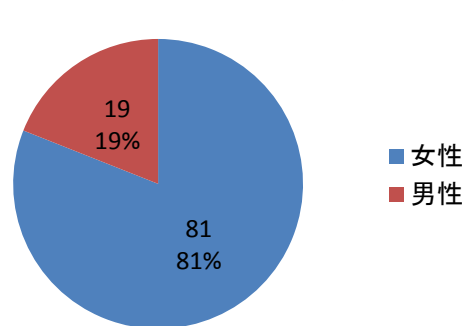
- 平成27年2月6日～2月15日まで、アプリの評価、アプリをきっかけとしたイベント・スポットの利用状況等を把握するために、**モニターへのアンケート**を実施し、**100名の回答**を得た。
- モニターの属性は次のとおり。分析結果は次頁以降のとおり。

モニター情報

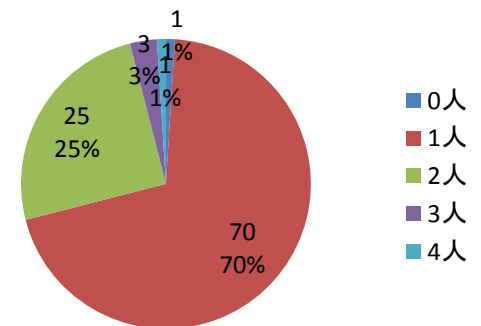
利用者世代毎の人数



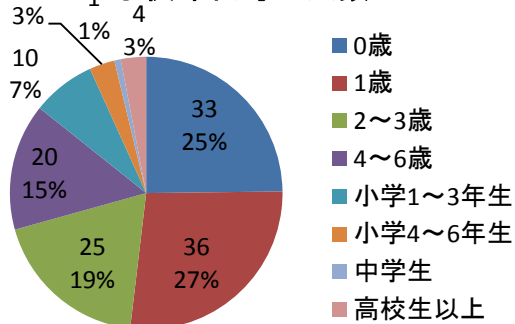
利用者性別毎の人数



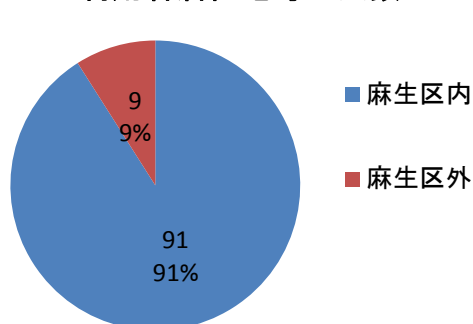
子供人数毎の人数



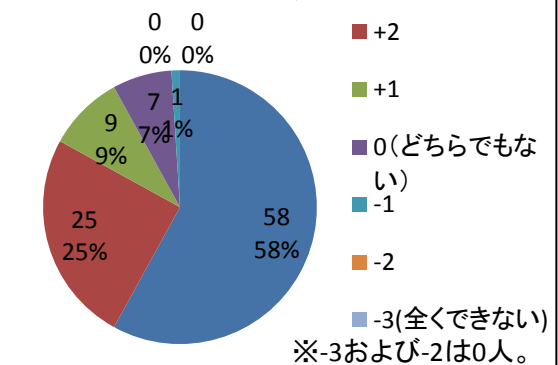
子供年代毎の人数



利用者居住地毎の人数

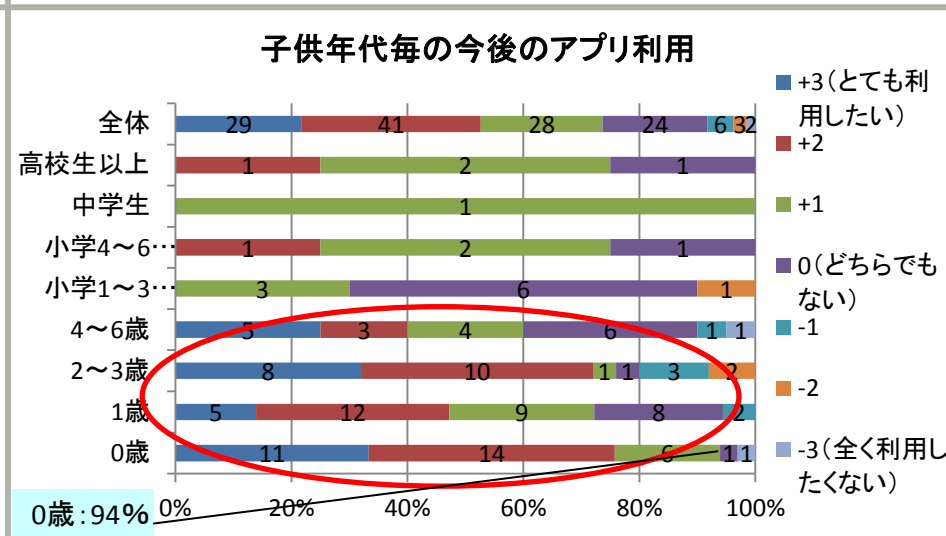
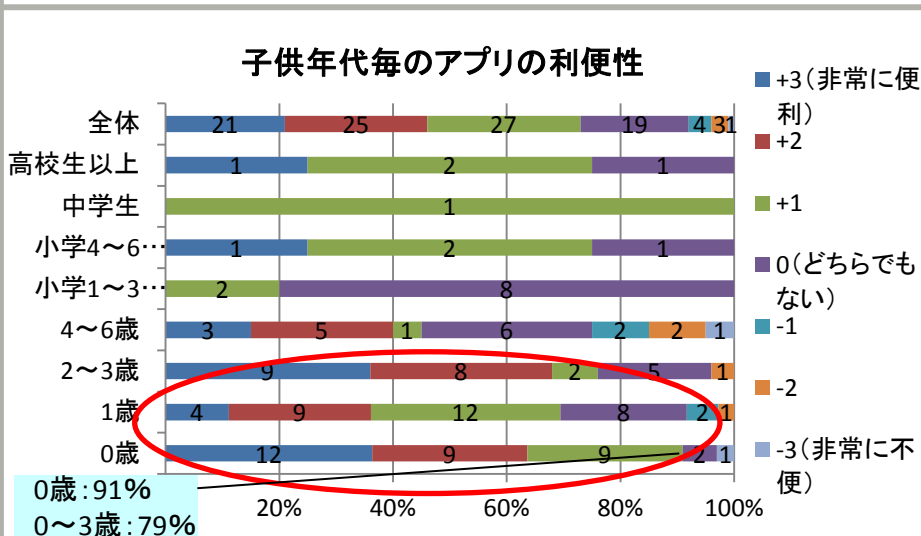
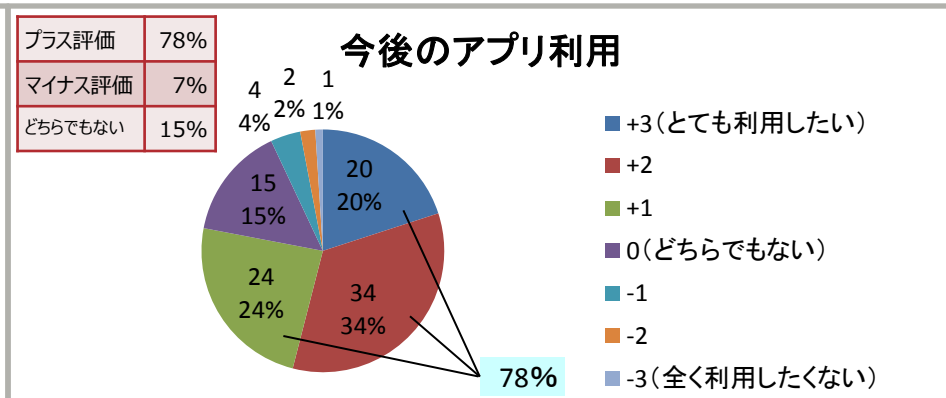
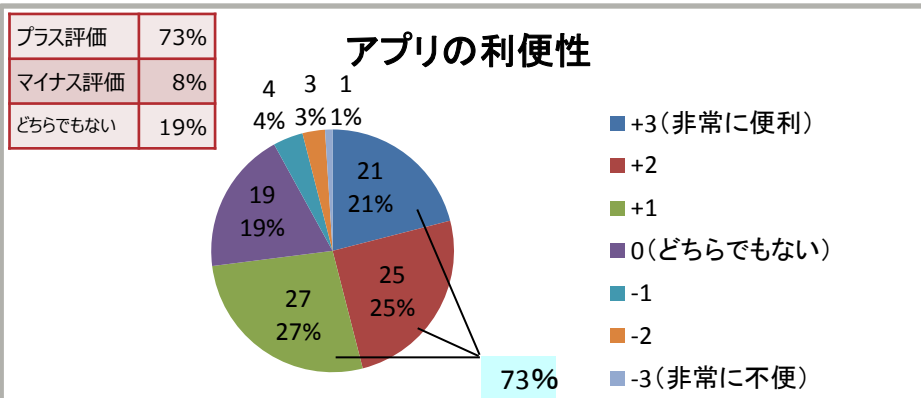


ITリテラシー毎の人数



モニターアンケート結果①（利便性、今後の利用）

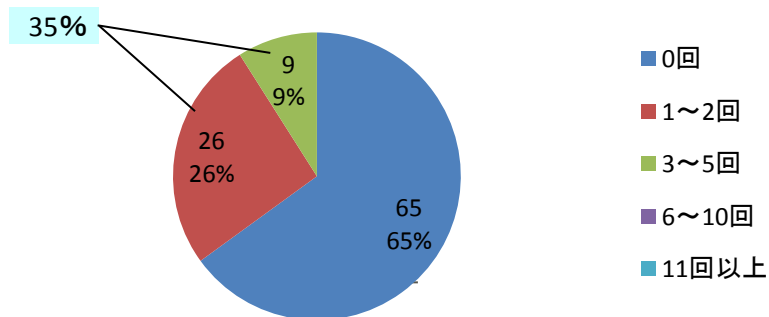
- アプリの利便性について、**73%が便利と評価（不便は8%のみ）**。0～3歳の親（79%）の評価が高く、とりわけ**0歳の親は91%が便利と評価**。**女性の評価が高い（77%）**。
- 今後のアプリ利用について、**78%が今後も利用したいと評価**。高い評価は0～6歳の親に集中。**0歳の親は94%が今後も利用したいと評価**。**女性の評価が高い（81%）**。



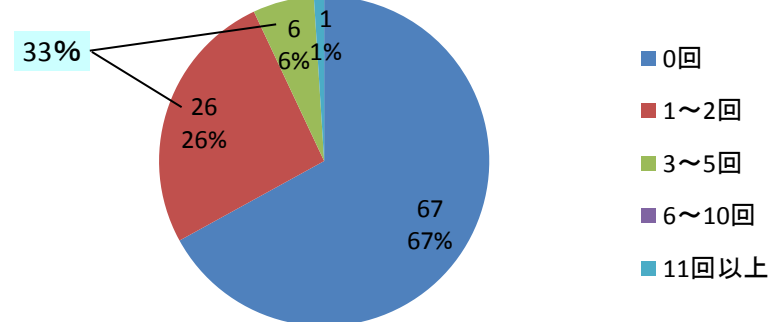
モニターアンケート結果②（行動への影響）

- アプリをきっかけとして、**35%がイベントに参加**、**33%がおでかけスポットに出かけた**と回答。
- **イベントは0～6歳の親の参加が多く（特に0～1歳）、スポットは0～3歳の親の利用が多い。**
- イベント、スポットの**利用回数の変化（又は変化見込み）は、ともに43%が増加**と回答。イベントの利用回数の変化は、居住地でみると、麻生区外の方が増加と回答した割合は多い（55%）。

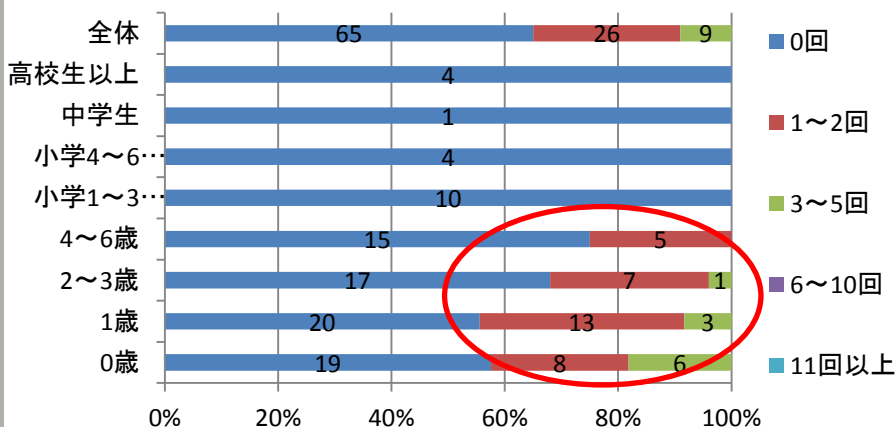
イベントの参加回数



おでかけスポットに行った回数



子供年代毎のイベント参加回数



子供年代毎のおでかけスポット参加回数



市民の評価（モニターアンケート結果）

- **便利**と評価 **73%**（0歳児の親は**91%**）
- **継続利用**を希望 **78%**（0歳児の親は**94%**）

※アプリモニター353名。 アクセスユーザー数は、一日平均で41名、週平均で173名。

職員の評価（麻生区職員ヒアリングにおける主なコメント）

- 「住民サービスの向上につながる」
- 「タイムリーな情報提供を続けたい」
- 「区の業務軽減につながる」

スマホによる情報発信のリーチ拡大

- イベント情報の**入手機会が増加（66%）**

⇒ これまで届かなかった層にも到達

イベント参加・おでかけスポット利用の増加

- アプリをきっかけに、**利用回数が増加（43%）**

⇒ イベント実施・スポット設置の費用対効果が向上

区民ニーズの施策へのフィードバック

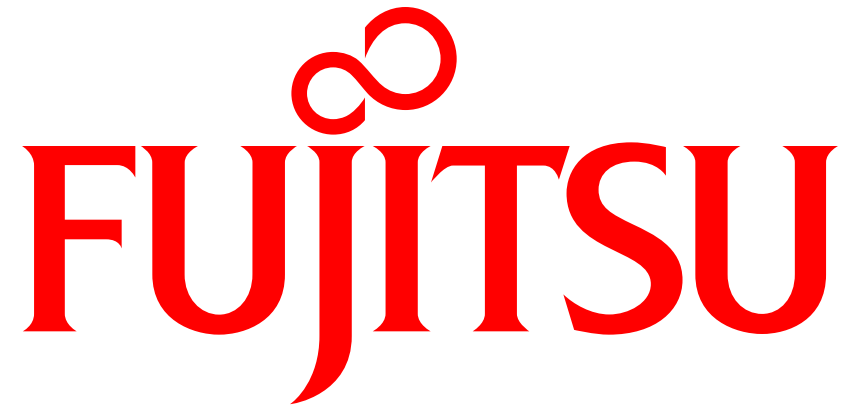
- アクセス状況の分析により**利用者ニーズの把握**

（例 ニーズの高さ、子どもの年代毎のニーズ傾向）

⇒ さらに、アクセス数が増えれば、詳細なニーズ把握が可能

⇒ 区全体のイベントのカテゴリー等の見直し、効果的なイベントの実施、スポットの設置・廃止の判断材料に

⇒ きめ細かい施策の実現



shaping tomorrow with you